

令和5年4月8日

令和4年度研究開発報告

住所 鹿児島市鴨池新町10番1号  
管理機関名 鹿児島県教育庁高校教育課  
代表者名 紺屋 宏昭

令和4年度地域との協働による高等学校教育改革推進事業に係る研究開発実施内容を、下記のとおり報告します。

記

1 事業特例校名・類型

学校名 鹿児島県立鶴翔高等学校  
学校長名 校長 久保 美和子  
類型 プロフェッショナル型

2 令和4年度研究開発実施概要

阿久根市は、少子高齢化に加え人口流失による地域産業の衰退が大きな課題となっている。そのような中、本校においては、廃棄ウニやジビエといった地域の未利用資源の活用に関する研究を行い、ある一定の評価を頂いた。

今年度は、これまでの取組を更に深化・発展させ、専門学科の学びを活かしながら、持続可能な社会の実現に向け、生徒が主体的・協働的に問題解決策を考え、行政等に企画提案を行ってきた。これにより地域産業の活性化を図り、阿久根市まちづくりビジョンに掲げる「帰ってきたくなる 行ってみたくなる 東シナ海の宝のまち あくね」に貢献する人材の育成につなげるとともに、地元への定着も図っていく。

3 教育課程の特例の活用（□で囲むこと）

- 学校設定教科・科目を開設している  
イ 教育課程の特例の活用している

4 コンソーシアムについて

①コンソーシアムの構成団体

鹿児島大学農学部学部長	橋本文雄
阿久根市農政課	園田 豊
阿久根市商工観光課	尾塚禎久
鹿児島いずみ農業協同組合	吉野 博
マルイ農業協同組合	田中英雄

(別紙様式 5)

北さつま漁業協同組合 屋久一夫  
株式会社下園薩男商店 下園正博  
農業自営者 西田 学  
株式会社まちの灯台阿久根 石川秀和  
スターゼンミートプロセッサ株式会社 阿久根工場 杉山武浩

②活動日程・活動内容

活動日程	活動内容
4月27日・28日	地域貢献活動① 長島地区バレイショ収穫実習 (悪天候のため中止)
5月16日	スターゼンミートプロセッサ株式会社との連携協議会 ・目録等贈呈式
5月18日	コンソーシアム委員下園氏より「みやぎん CSR 型私募 債」に係る寄付の目録贈呈式
6月2日	阿久根企業魅力説明会 地域の企業を知る
6月13日	第1回コンソーシアム会議 これまでの取組と今年度の活動計画 これからの活動への提言
6月23日	清掃活動・シーカヤック・サップ体験学習
7月8日	阿久根市合同企業説明会①
9月15日	コンソーシアム委員の西田氏による講演
10月19日～21日	1年生職場研修 地域企業で3日間職場研修を行い、企業を知り、仕事への 理解を深めた。
10月24日～28日	農家体験学習・インターンシップ 農家・地元企業での実習
11月18日	第2回コンソーシアム会議 上半期の取組の報告、今後の計画、委員からの提言等
11月27日	地域産業見学会 (1学年)
12月13日	農業施設先進地視察研修 (農業科学科1年)
12月19日・20日	地域貢献活動② (19日は悪天候のため中止) 阿久根地域で生産される紅甘夏の収穫実習 担い手不足の農家支援と農業への理解を深める取組
1月30日・31日	地域貢献活動③ 長島地区バレイショ収穫実習 (悪天候のため中止)
2月9日	阿久根市合同企業説明会②
2月17日	第3回コンソーシアム会議 1年間の取組の報告・次年度に向けての提言等

(別紙様式 5)

## 5 研究開発の実績

### (1) 実施日程

実施項目	実施日程											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
科目「SDG s 学」	8回	9回	9回	6回		9回	9回	9回	6回	6回	6回	6回
地域企業調べ				1回		2回			2回	2回		
職場研修事前・事後学習						1回	1回	1回				
職業調べ							1回	1回	1回	1回		
地域貢献活動事前・事後学習	1回								1回	1回		

### (2) 実績の説明

#### 科目「SDG s 学」

SDG s とは「何か」から取り組み、17の項目ごとに詳しく説明を受け、自分が興味・関心のある項目について調べ学習等を行い、リサイクルセンター等の視察も行った。

#### 「地域企業調べ」

地域にどのような企業ありどんな業務内容であるかを調べた。

#### 「職場研修」

地元企業への興味・関心を高めるために企業研修を行った。研修後は、仕事に対する考え方や将来の目標についてレポートを提出した。

#### 「地域貢献活動」

地域の農家支援で、紅甘夏の収穫期の援農を行った。事前学習では、それぞれの作物の栽培が始まった歴史や収穫時の注意などを学んだ。また、今年度は空き地・遊休農地における景観植物の有効活用について取り組み、市民の方々に喜んで頂いた。

### (3) 研究開発の実施体制について

※高校と地域を繋ぐコーディネーターを配置する場合には、コーディネーターの配置状況及び活動内容について記載してください。

コンソーシアム委員の講演の実施

外部講師を活用した事前学習の実施

地元企業でH A C C Pについての学習

### (4) 次年度以降の課題及び改善点

- ・地域の良さや地域企業について理解を深める学習を行った。阿久根市や地元企業との連携を密に行い、多くの情報を生徒に提供できるようにする必要がある。
- ・体験的な学習を通して生徒は成長していくので、職場体験や農業体験などより多くの体験的な学習を取り入れることで、3年次の職業選択の一助となるような取組にしていく。
- ・外部講師の積極的な活用と先進視察研修を取り入れる。

### 【担当者】

担当課	鹿児島県教育庁高校教育課	T E L	099-286-5294
氏 名	廣瀬 将孝・北吉 美大	F A X	099-286-5678
職 名	指導主事	e-mail	sangyo@pref.kagoshima.lg.jp

(別紙様式 5)